

# せい ろう まち せ 聖籠町 議会だより

VOL.  
**106**  
平成26年4月18日発行

初めての入园式  
(聖籠こども園)



安心・安全な生活環境づくりと  
教育・福祉の充実

2~7ページ

~新年度予算を可決~

10人が一般質問

14~24ページ

第16回追跡レポート

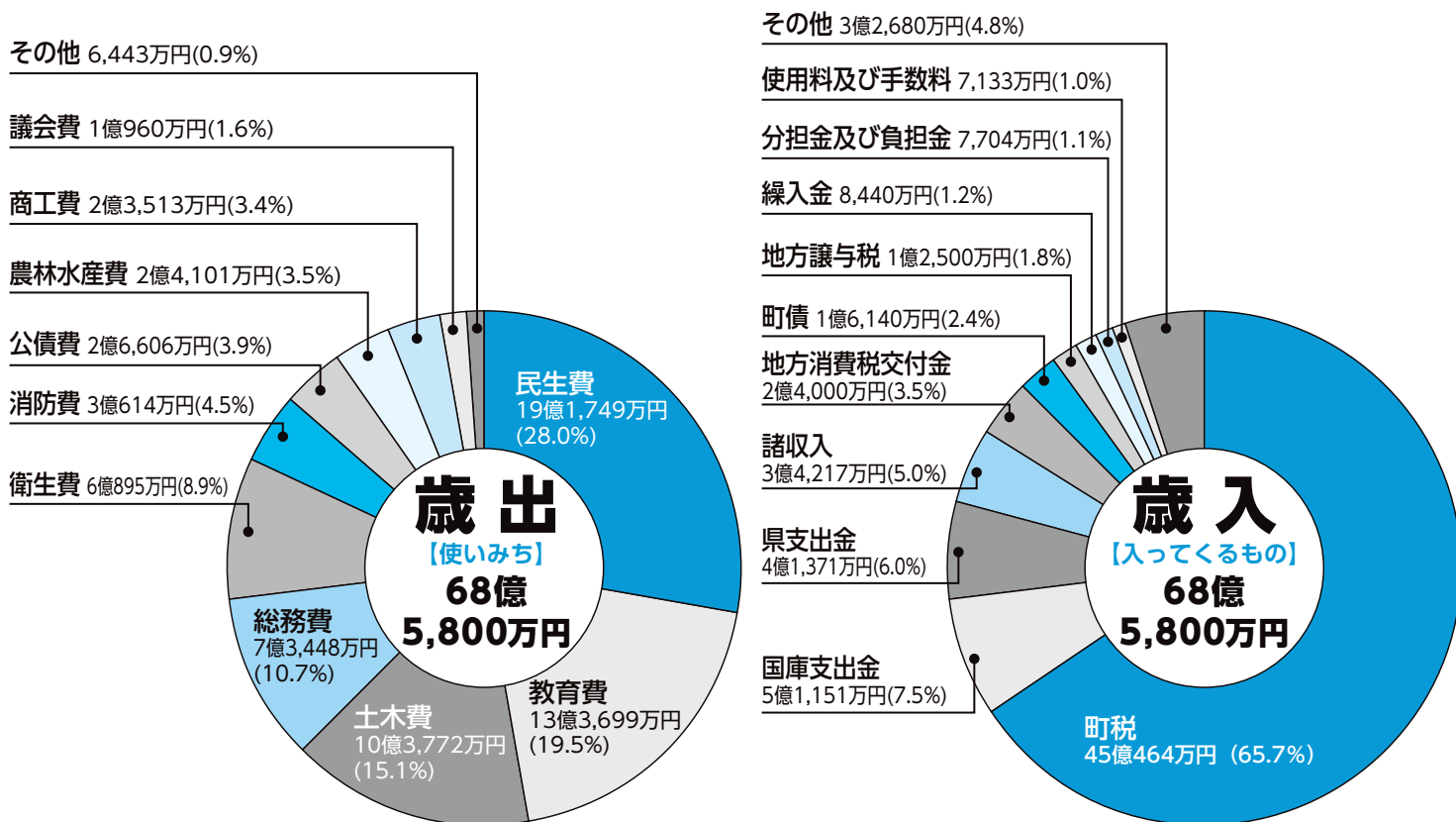
25ページ

# 安心・安全な生活環境づくりと

# 教育・福祉の充実

## 3月定例会

### 一般会計予算の内訳



## 一般会計予算 68億5,800万円 (前年度対比11.6%減)



▲予算委員会で答弁する執行部

歳出においては、図書館新設に伴う歳出が前年

比べて増加しています。安心・安全な暮らしを守るという意味において評価できます。

平成26年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ68億5,800万円、前年度対比11.6%の減となっています。

歳入においては、全体の65.7%を占める町税は45億4,644万円、前年度の45億3,229万円に対して27億65万円、率にして0.6%の減となっています。町税は若干減収となったため、引き続き課税対象の把握に努めてまいります。

度ではほぼ終わったため、投資的経費が大幅減となりました。一方で義務的経費の増加や、新図書館建設により発生する維持管理費の増加が見られます。今後は経常経費の継続的な圧縮・削減による全般的な歳出抑制に努めてまいります。また中央防災倉庫の建設、蓮野児童クラブの建築などの防災、教育などの歳出は、

## 一般会計予算

### 【歳出】

民生費→高齢者・児童福祉など／教育費→学校、公民館、図書館など／土木費→道路・公園の維持・整備など／衛生費→保健事業、ごみ処理など／総務費→公害・交通安全対策、選挙など／公債費→町が借りたお金の返済／消防費→消防団活動、防災無線など

### 平成26年度 7会計総額

# 112億5,115万円

(対前年度比4.4%減)

- 一般会計 68億5,800万円 (11.6%減)
- 国民健康保険特別会計 事業勘定 14億851万円 (7.2%増) 施設勘定 1億4,526万円 (3.8%減)
- 介護保険特別会計 11億758万円 (2.6%増)
- 後期高齢者医療特別会計 7,706万円 (1.8%増)
- 県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計 995万円 (22.2%増)
- 下水道事業会計 収益的支出 7億5,198万円 (30.5%増) 資本的支出 4億1,108万円 (7.5%増)
- 水道事業会計 収益的支出 2億6,758万円 (11.5%増) 資本的支出 2億1,415万円 (13.6%増)

### 【歳入】

町税→町に直接入るお金(固定資産税、町民税、軽自動車税など)／国庫支出金→国が出す補助金／県支出金→県が出す補助金／町債→税源不足による借入金／繰入金→特別会計や各種基金から繰り入れるお金

**予算審査特別委員会**  
平成26年度一般会計予算、特別会計予算、事業会計予算の7議案を、平成26年3月12日から17日にわたり、各会計および各款ごとに慎重に審査を行いました。自主独立の道を歩む町として、行財政改革の実行と同時に同時に広く町民の声を吸い上げ、町と町民の協働によるまちづくりを進める。そのための効果的な施策の構築を願うものです。

3月定例会は、3月4日から18日までの15日間の会期で開かれました。新年度にあたって町長の施政方針表明があり、町長から提案された平成26年度一般会計予算、4特別会計予算、2事業会計予算のほか、25年度補正予算、条例の改廃などの25議案を慎重に審議し、いずれも可決しました。一般質問では10人の議員が、農業振興、東港開発、教育・福祉、環境整備、図書館建設、スポーツ振興など町政全般について、2日間にわたり厳しく問



▲真剣な議論 予算審査特別委員会

# 平成26年度 新規・重点事業とQ&A

<b>安心して暮らせる福祉</b> (医療、福祉など)	<b>生き生きと学べる環境</b> (生涯教育・スポーツ振興など)	<b>町を活性化する産業</b> (商業、農業、漁業、観光など)
--------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------

<b>主な事業概要</b> ○臨時福祉給付金扶助費 (新規) 2,537万円 ○病児・病後児保育医療施設 整備事業補助金 (新規) 345万円 ○高齢者応援手当扶助費 2,111万円	<b>主な事業概要</b> ○地域スポーツ専門指導者育成事業 (新規) 303万円 ○スポネットせいろう補助金 1,394万円 ○文化財保護費 1,307万円	<b>主な事業概要</b> ○地域活性化対策事業補助 (新規) 2,224万円 ○農林水産振興事業補助金 2,121万円 ○新規就農給付金 600万円 ○聖籠町住まいる券発行事業 498万円
--	---	--



<b>質 疑</b>	<b>質 疑</b>	<b>質 疑</b>
------------	------------	------------

<p><b>問</b> 新規事業の病児・病後児保育医療施設整備事業は、来年開業予定の「葵会」病院内の施設に対する補助金である。ぜひ、町民が有効活用でき、使いやすい施設になるように指導をしてもらいたい。どう考えるか。</p> <p><b>答</b> そのような施設になるよう、町としても申し入れたいと思っている。</p>	<p><b>問</b> 地域スポーツ専門指導者育成事業委託料が計上された。これは新規事業になるが、どのような内容か。</p> <p><b>答</b> 地域の中でスポーツ専門指導者の育成事業で、障がい者に対するスポーツ指導も視野に入れている。委託先はスポネットせいろう。</p>	<p><b>問</b> 新規就農給付金として予算があがっているが、この内容はどのようなものか。また現在本町には何人受給対象者がいるのか。</p> <p><b>答</b> 45歳未満など、一定条件の新規就農者に、最長5年間の給付金を支給する事業。現在本町での対象者は4人おり、1人につき年間150万円支給する。なお、所得が250万円を超えると、支給は終了となる。</p>
---	--	--

<b>子どもたちの健やかな成長</b> (こども園、小・中学校など)	<b>安全で快適な生活環境</b> (防災・環境・都市計画など)
---------------------------------------	-------------------------------------

<b>主な事業概要</b> ○蓮野児童クラブ建築工事 (新規) 3,900万円 ○子育て世帯臨時特例給付金 (新規) 1,848万円 ○小学校遊具・こども園プール等の整備 (新規) 1,097万円 ○小・中学校非常勤講師賃金 2,837万円	<b>主な事業概要</b> ○中央防災倉庫建設 (新規) 2,600万円 ○道路改良費 2億2,240万円 ○町内循環バス事業費 4,650万円 ○家庭生ごみ収集運搬等業務 3,498万円
--	--



<b>質 疑</b>	<b>質 疑</b>
------------	------------

<p><b>問</b> 蓮野児童クラブの建設にあたっては、町民が使いやすい施設および運営となるような配慮を望む。また建設完了までの間、保護者が安心して預けられる対応策の検討をしてほしいが。</p> <p><b>答</b> 新しい蓮野児童クラブの施設は収容人数が80人以上と、かなり大きめの施設の予定であり、広く町民に使ってもらいたいと考えている。開館予定である来年4月までの子どもたちへの対応は万全にしていく。</p>	<p><b>問</b> 蓮野児童クラブの建設にあたっては、町民が使いやすい施設および運営となるような配慮を望む。また建設完了までの間、保護者が安心して預けられる対応策の検討をしてほしいが。</p> <p><b>答</b> 現在、小学校は緑のカーテンや扇風機で対応しているが、地球の温暖化も進んでおり、今後は計画立てて予算化を検討していきたい。</p>
---	---

<p><b>問</b> 町内3小学校の普通教室には冷房設備がない。こども園と中学校には設置されているが、小学校での設置は保健室など特定の教室だけだ。早急に検討を望みたいが、どう考えるか。</p> <p><b>答</b> 平成25年度は水質調査・土壌調査・生物調査をしたが、大きな問題が見つからなかった。カメ等の捕食生物による影響が考えられる。今年度は捕食生物の影響を調査し、実際にハスを植えようと考えている。</p>	<p><b>問</b> 中央防災倉庫を新設するが、倉庫内での災害用備品・食料・飲料水の備蓄はどれくらいになるのか。地域防災計画では3日分となっている。</p> <p><b>答</b> 全町民の一割の一日分を予定している。将来的には小学校区ごとに建設していきたい。</p>
--	---

### 生まれ育った町 聖籠



栗原 啓太 (荅沼)

自分が生まれ育った町が、平成の大合併が行われた後も独立した町であることをほとんどうれしく思います。新潟東港を有する聖籠町は町税歳入が全体の歳入の66%にも及んでいます。他の市町村から見てもすごい数字

だと思います。これにより教育や福祉が充実していることは町民としてほんとに助かります。また、アルビレックスの本拠地ということをはじめ多くのスポーツクラブがあり、子どもたちが色んな選択をできること

はうれしいことです。最後に、自分の大好きな聖籠町の住所からいつか北蒲原郡が取れるか、人口が増えて聖籠市になることを祈っています。

前年に比べ、ことしは一般会計で9億円減の68億5800万円の予算と報道で見ました。各担当課でも、4700万円減に努力したと聞き、評価に値する事柄です。国の政策を見ると、復興税の徴収は仕方ないですが、国保料の値上げ、4月から8%の消費

税、年金減額等、町民は不安でいっぱいです。多少不安を和らげるのは、防災備蓄倉庫が建設予定で、将来は各学校区に建設予定と聞き少し安心しました。安心安全のまちづくりのため、子どもたちの未来のためにも健全財政指数維持を願うものです。

### 健全財政 指数維持を



あぶらや 豊彦 (次第浜)

聖籠町のように住むには恵まれた環境の中で、ちょっと心配なことは、小中学生の登下校における安全性についてです。立派な歩道が整備されている所もあり、他に白線一本の歩道も見受けられます。時々新聞、テレビ等で登下校時の事故が報道されることがあります。町内ではこのような事故はないようですが、

起きてからでは遅いです。特に冬の除雪後は、白線一本の歩道はスペースがありません。車道が通学路になっており、ハラハラすることが多々あります。少なくとも、小中学生のメイン通学路だけでも安全、また安心して通える歩道の設置をぜひ望むところです。

### 通学路の 歩道整備を早急に



たかはし 訓弘 (荅沼)

### 育英制度の 充実を望む



かとう ともこ (蓮野)

私が嫁に来てことしで20年になります。わが子や地域と一緒に育った子どもたちも成長し、最近では、高い志を持ち勉学に励んでいる様子や、夢の実現のために自己鍛錬している様子を耳にします。

また同時に親の経済事情も聞こえ、県外への進学はもとより、医師や看護師を目指すための高額費用を懸念する話題が絶えません。他市町村では地域医療体制の維持確保のため、育英資金の貸与金額や返

済免除要件等、特別支援制度を実施しています。ぜひ当町においても制度の充実を願っています。

# 町の声

## ～予算への 思いを聞く～

聖籠町は一般会計と6つの特別会計を合わせると、毎年110億円余りの予算を使っています。

そこで今回は、町民の皆さまに町や議会に対する予算の使い方について、考え方や要望などを聞いてみました。

年齢、職業、お住まいの地域などによって、いろいろな意見があると思います。

今後、議会としても皆さまの声を反映できるよう、町へ働き掛けていきたいと思っています。(敬称略)

### 子育て支援の 拡充を期待



おおたに カオル (正庵)

主人は新潟市、私は五泉市出身ですが、縁あって聖籠町に居を構えました。町は評判通り子育てしやすい環境で大変喜んでます。町に望む点は2点あります。1点目は、蓮野小学校区にも子どもたちが気軽に歩いていける児童館を造ってほしいです。

2点目は、こども園は無料ですが、その後の小・中学校の子育てにも、町独自の新しい行政サービスを考えてほしいということです。今よりも、もっと魅力のある聖籠町になるように、他の市町村に負けないような子育て支援の充実を期待しています。

### 安全・安心の できる生活へ



さいとう つねお 齋藤 常雄 (網代浜)

3年前の東日本大震災が物語っているように、地震津波による犠牲者が大変多く、丸3年たった今でも行方不明者があり、心痛む毎日です。わが聖籠町も海に面し、大半は標高が低く、唯一高いのが砂丘地だけです。避難する高い場所、建造物がなく、最低限生き延びるために避難所が必要だと思います。緊急時のライフラインの確保、食品の備蓄、への発着所等のある避難所の建設に向け議会、行政が一体になり、安全安心の確保をお願いします。

# 定例会

【審議可決された主な議案】

- 土地改良基金条例
- 空き家条例
- 町立図書館の設置
- 子ども条例
- 副町長の選任

## 子ども条例を可決

### 前文

子どもは、社会の希望であり、未来をつくる存在であります。

次代の社会を担う子どもが、夢と希望を持ち、心身ともに健やかに育つことを支えることは、子どもや保護者の幸せにつながることはもとより、未来の活力ある地域社会の創造に大きく貢献するものです。

しかし、近年、核家族

化や少子高齢化の進展、地域のつながりの希薄化により、子どもを見守る地域力が低下してきており、子育ての負担や不安、孤立感が高まっています。こうした中、児童虐待やいじめが増加するなど、子どもの心身が健やかに育つ環境が損なわれ、これが更なる少子化の進行とそれに伴う経済の停滞や地域社会の活力低下など、様々な分野に影響を及ぼすことが懸念されています。

このような状況に歯止めをかけ、子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、家庭、学校、地域、事業者など社会全体がそれぞれの役割を果たし、未来の聖籠町を担う子どもたちが、それぞれの発達段階に応じた、のびのび健康やかに成長し、保護者が子育てに喜びを感じ、いきいきとした活力あるまちとなることを目指し、この条例を制定するものです。

### 主な質疑

子ども条例とは子どもたちの健やかな成長のため、保護者、町民、学校、事業者、町のそれぞれの責務を明らかにするとともに、子育て支援に関する町の施策の基本事項を定める。

### 特に必要なときに設ける

例に前文を設けるときの基準を作ってはどうか。

### 意思疎通に欠けていた

【渡辺利道議員】 この条例に前文を設けることに反対ではないが、前文は理念や目的を明確にするために設けるとの答弁があった。ならば、制定者の意志を強く表すものとして「である」調とすべきである。3月10日に開催された総務文教常任委員会では、前文が「である」調だったのに、急に前文を「ですます」調に変えたのは変である。なぜ、文体を変えたのか。

### 条例に前文を設ける基準は

【小川益一郎議員】 この条例には条例の理念を書いた前文が設けられているが、空き家条例には前文がない。条例制定で前文を設ける基準は何か。条例

### 前文の文体をなぜ変えたのか

【町長】 条例としては前文は必要ないが、検討委員会等から理念を咨申されたときや、目的を特に明確にする必要があるときに設けるもので、町長の独断で決めているわけではない。

前文を設ける基準を問題提起されたが、必要なときとそうでないときがあり、難しいと考える。

【町長】 前文を設けるのは昨年6月に制定した食料・農業・農村基本条例以来である。前回の条例では前文を「ですます」調としており、3月10日の総務文教常任委員会での指摘を受けて再検討の結果、文調を改めたものである。

事務方との意思疎通に欠けていたと思う。

## 討論

### 反対 渡辺利道議員

子ども条例の趣旨には反対するものではないが、条例に設ける前文は町の意思を示すものであることから、「である」調であるべきだ。3月10日まで前文は「である」調であり、なぜ急に文調を「ですます」調に変更するのか。

### 賛成 桜井怜議員

3月10日の条例案に戻すべきではないか。この条例案では、町の意思が後退したように映るため反対である。

### 採決 賛成10、反対3で可決

空き家が放置され、管理不全となることを防止し、町民の安全で安心な生活を確保し、生活環境の保全を図るため条例を制定するもの。

条例では、空き家が管理不全な状態とならないように所有者の責務を定めたほか、町が調査し、必要があれば町が除却できることを定めている。

## 空き家の適正管理を規定

### 主な質疑

#### 県内での制定状況は

【中村恵美子議員】 県内ではどの程度この条例を定めているのか。また、現在町にはどのくらいの空き家があるのか。

#### 全市町村で制定

【生活環境課長】 空き家条例は県内全ての市町村で制定している。また、町で把握している空き家は、現在65軒ある。

#### 安心が脅かされた例はあるか

【五十嵐利栄議員】 町民の安心・安全が脅かされた例とは、どのようなものがあるか。

また、所有者が不明の場合および経済的に管理費用を払えない人への対応は。

### 草木の繁茂や害虫の発生

【生活環境課長】 町民の安心・安全が脅かされた例としては、草木の繁茂や害虫の発生がある。空き家の所有者が不明の例は多く、管理者の把握に努めている。

### 討論 採決 起立全員で可決



▲空き家となって約20年

### 副町長に 西脇 道夫さん



西脇 道夫 さん

平成26年3月31日をもって退任する副町長、加藤健二さんの後任として、現総務課長の西脇道夫さんを選任することの同意を求められ、賛成10、反対3で同意しました。

### お知らせ

当議会広報は、これまで議会承認や、議会同意の各種委員の紹介を提案者（行政）が議会に提案する際に、当該者の経歴などを詳細に紹介している内容を、ほぼそのまま記載してきました。

今後は、先進事例や広報研修会などの意見を踏まえて、「客観的な事実」を主体に掲載することとしました。

106号で紹介しなす副町長の紹介から、新方式で掲載、紹介することをお知らせ致します。

### ●行政課題の集中取組

### ●保健福祉課の子ども業務を移管

### ●地域活性化対策事業復活

## 施政方針表明



わたなべ 渡邊町長

▼平成26年度は、早急な取組みが必要な行政課題「適正な人員配置へ向けた事業見直し」「補助金等のあり方の根本的な見直し」「職員の意識改革」の3項目について集中的に取り組みを行います。また、行政改革検討委員会の検討を経て取りまとめを行います。特に、各課の職員配置につきましては、事務管理監からの報告と検

の学校教育課に移管し、子ども子育て部門の体制強化と子育て施策を一元化し、一層の充実を図っていきます。

▼商工業の振興対策として、6回目の「聖籠町地域活性化対策事業」を実施します。事業費は、一昨年と同じ2億円とし変更しませんが、割引率を5%下げ、10%で実施します。また、「聖籠町住まいる券発行事業」も実施します。

▼平成27年度から施行される新たな「子ども・子育て支援制度」に向け、学校教育課に替えて、子ども教育課を設置することになりました。

▼新規事業として、第三者により住民票の写しや戸籍謄本などが、不正に取得されることを防止・抑制するため、要綱を定め事前に登録した本人に通知する本人通知制度を実施します。

## 読者の声



こいけ いくよ 小池 郁世さん (山倉)

### 聖籠町民5年生

私たち家族は5年前、ていることに気がきました。私も子どもたちも入園するタイミングで群馬県から新発田市へ夫の転勤が決まり、「聖籠町のごも園は無料」という話を聞いて、ただそれだけの理由で聖籠町へ引っ越して来ました。

実際に住み始めて感じることは、子育て支援の充実と周囲の人の温かさです。こども園の保育料無料や医療費の補助など金銭面だけでなく、そこに関わった人たちの温かさにも支えられています。また、聖籠町で育った子どもたちには、大人になっても仲が良く、そして聖籠町で活躍していることを誇りに思っています。

私は今、子育て真っ最中で、聖籠町の充実した子育て、教育支援の恩恵を受けています。これからそれだけでなく、介護支援の充実など色んなニーズに合わせて、その人、その時々で誰もが支援を受けていると実感できるような聖籠町になることを願っています。

## みなさんの 請願・陳情

第1回定例会では地域住民より直接の声となります。請願2件を審査し、1件を採択、1件を継続審査としました。

### 採択した請願

◎ TPP交渉に関する請願書

〔提出者〕

北越後農業協同組合 代表理事組合長 宮島 允

〔紹介議員〕 小川 益一郎・宮沢 光子

### 継続審査となった請願

◎ 「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める意見書提出に関する請願

〔提出者〕

秘密保護法に反対する新潟の会 代表 佐藤 一弥

〔紹介議員〕 中村 恵美子・五十嵐 利栄

理由 特定秘密の保護に関する法律が社会に与える影響について、さらに検討する必要があるため。

### 意見書を 国に提出

第1回定例会で1件の意見書が提出され、全会一致で可決されました。可決された意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◎ TPP交渉に関する意見書

### 東新潟火力発電所港1号機・2号機更新に関する要請決議書を可決

本議会では、東新潟火力発電所港1号機・2号機について、東北電力(株)に対し高効率な発電設備への更新整備を要請する、要請決議書を全員賛成で可決しました。

港1号機・2号機は、東日本大震災後の東北地域における、電力の安定供給確保ため運転を続けているものの、港1号機で運転開始から40年以上を経過するなど、老朽化

が進んでいます。これを高効率の発電設備に更新することで、電力の安定供給と同時に地域の安全・安心の確保や、環境負荷の低減が期待されるものです。

## 自治功労者に対し 全国町村議会議長会より表彰



中村恵美子議員

議会議員として多年にわたり、町の地方自治振興ならびに議会機能向上に貢献され功績のあった者として、全国町村議会議長会から中村恵美子議員が表彰されました。

## 議会広報全国コンクールで 優良賞を受賞



議会広報対策特別委員一同

議会だより102号(平成25年4月19日発行)が、第28回町村議会広報全国コンクールにおいて優良賞を受賞しました。賞をいただいたことを励みに、今後も広報委員一同、研さんを重ね、より町民に親しまれる広報紙づくりを目指していきます。

# 東港コンテナターミナル 株式売却を承認

## 一般会計補正予算

主な歳入	
■ 株式売却収入	568万円
■ 図書館新設事業債	2740万円減額
主な歳出	
■ 道路整備業務委託料	800万円
■ 育英生貸付金	1022万円減額
■ 財政調整基金積立金	7000万円

平成25年度一般会計補正予算は、既定予算に歳入歳出それぞれ2096万円を減額し、総額79億4538万円と定める予算を全会一致で可決しました。

主な質疑は、歳入の株式売り払いで、歳出では、耐震診断や、弁護士料、中学校の修繕費負担などについて行われました。

### 主な質疑

**株式売り払い568万円の内容は**

小川益一郎議員 株式売

り払い歳入は具体的に何

**売却後の町株保有数は**

宮沢光子議員 今回121株を売却した後の町が保有する株数は。

827株保有する

東港振興室長 町保有の948株中5・6%の121株を売却するので827株は引き続き出資数となる。



▲民営化された東港コンテナターミナル

**東港コンテナターミナル株売却**

東港振興室長 4月1日

から東港コンテナターミナルが民営化される。民営化で運営会社の出資割合が50%を超えなければならぬ。町は現行保有している株のうち、121株を民間に譲渡する。この売却額が568万円だ。

**入湯税アップの理由は**

五十嵐利栄議員 入湯税収入が、今回200万円補正され、合計で前年比10%アップとなっている。その理由は。

### 平成22年以降入場者最高の見込み

保健福祉課長 1月末現在入場者は、前年対比450人増で、3月末見込みで平成22年以降最高の18万人を超える見込み。内容は、まだ未分析だ。



▲入場者年間で18万人突破のざぶ〜ん館

### 耐震診断啓発どうしている

渡辺利道議員 耐震診断予算84万5000円の減額も発生している。啓発活動は、どうしている。

### 平成26年度から個人負担ゼロ

ふるさと整備課長 啓発活動は町の広報と、ホームページで行っている。平成26年度から耐震診断個人負担なくするよう3

### なぜPTA負担か

市1町で進めている。

中村恵美子議員 中学校

管理費で191万6000円の減額補正している一方、なぜトイレの鏡修理や、展望台修理をPTAが負担したのか。当然町が出費すべきでないか。

### 好意に甘えた

学校教育課長 町で実施

予定だったが、学校からPTAが出費してくれると連絡があり、好意に甘えた。

### 今年割れたのではない

田中智之議員 中学校のトイレの鏡は、今年割れたわけではない。PTAが見るに見かねて、会費積立から了解を得て直した。

### 把握が遅れた

学校教育課長 把握する時期が遅かった。今後は早期把握に努める。

### 人選の方法は

五十嵐利栄議員 中国黒龍江省に派遣する、青少年訪問団4人の人選は具体的にどう行った。

### 全員対象に公募

学校教育課長 3小学校5〜6年生全員に公募した結果、蓮野小学校3人、山倉小学校1人計4人の申込児童4人と、町

から付き添い1人が同行し、3月23日から3泊4日で訪問する。



▲中国の子どもたちと交流

# ズバリ 直言!! 町政を問う 一般質問

## 10議員が質問

- 3月議会では、10議員から町政を問う一般質問がありました。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、5月末に町ホームページに掲載される予定です。

**渡辺 利道** 議員

P15

- 1 進んでいない情報公開
- 2 休園時の一時預かりの実施を

**五十嵐 利栄** 議員

P16

- 1 農家は不安が大きい
- 2 住宅建設で人口増を
- 3 「葬会」病院いつ認可か

**宮沢 光子** 議員

P17

- 1 どう考える今後のまちづくり
- 2 実感できる子育て支援策を

**桜井 怜** 議員

P18

- 1 6選出馬どうする
- 2 目標人口1万5000人

**高松 守雄** 議員

P19

- 1 不交付団体大丈夫か
- 2 エネルギー戦略特区の取り組みは

**田中 智之** 議員

P20

- 1 児童クラブの方向性を問う
- 2 通学路の点検と整備を

**中村 恵美子** 議員

P21

- 1 子育て新制度格差はあるか
- 2 津波ハザードマップ町民に周知を

**小川 益一郎** 議員

P22

- 1 26年度施政方針をただす  
その他の質問(4問)

**堀 常正** 議員

P23

- 1 海岸保全施設の抜本的対策を
- 2 信号機設置を要望せよ

**青木 順** 議員

P24

- 1 夢実現の応援を

## 進んでいない情報公開

### 町長 公表しないのは私の判断

**問** 町では、平成14年に要綱を定めて工事入札に関する情報を公表している。

しかし、その情報公開の度合いが、近隣市に比べ低いものとなっている。町長は町民に開かれたまちづくりと言っているが、こと工事入札に関しては全く開かれていない。町のホームページ上で公表されている工事契約件数は、65件中21件しかない。

町内業者として20社が入札参加登録をしている。この中で町発注全体

額の4割近くを受注している会社がある一方で、全く受注できない会社がある。9社あり、受注しても、年間の請負額が200万円以下の会社もある。

事後公表でいいから、契約の状況をきちんと明示すべきでないか。

また、工事だけでなく、草刈りや剪定といった管理業務や、測量・設計等の建設コンサルタン業務もあるが、これら発注見通しについても公表されていない。

**町長** 町では、契約前および契約後も設計書および予定価格を公表していない。それは、予定価格を公表することにより、入札談合の助長や、競争入札参加業者の真剣な見積もり努力を失わせる恐れがある。適正な競争原理が働かなくなるのは好ましくないとの私の判断である。

予定価格は本町を含めて県内4町村で未公表としている。

## 休園時の一時預かりの実施を

### 町長 事実上難しい



▲活用が望まれる聖籠こども園

**問** ことしはインフルエンザが流行し、蓮野こども園でも2月12日から14日まで園閉鎖を実施した。この園閉鎖は仕方ないが、共働き世帯では大変なことと思う。町は子育て支援に積極的にあり、聖籠こども園を活用して、短期間の幼児一時預かりができないか。

**町長** 感染症のまん延を予防するため、こども園は学校保健安全法に基づき閉鎖した。緊急時の聖籠こども園における幼児の一時預かりは、感染予防の観点から難しいと考える。

インターネット上での入札結果公表状況  
H26年3月現在

町村名	人口	予定価格	入札調書	結果公表
聖籠町	13,904	×	×	○
田上町	12,446	○	○	○
阿賀町	12,447	○	○	○
津南町	10,419	×	×	×
湯沢町	8,324	○	○	○
弥彦村	8,340	○	○	○
関川村	6,144	○	○	○
刈羽村	4,749	×	×	○
出雲崎町	4,674	×	×	×
粟島浦村	357	×	×	×

1) 人口は県民手帳の資料から引用  
2) 県および県内全市(20市)では予定価格を公表





宮沢 光子議員

**問** 平成26年度は、町長の5期目の任期が終了する年である。過去20年間を振り返り、まちづくりの政策についてどう考えているか。

豊かな財政力に裏付けされた施策を次々に実行できた20年間だったと思う。しかし、近年、豊かだと言われている聖籠町にも陰りがみえてきた。町民の中には今後、不交付団体ではいられず、新たな合併問題が起るのではという声もある。町独自の住民サービスの

低下も考えられる。町の財政問題としっかり向き合い、10年・20年先を見据えたまちづくりをどう考えているか。

**町長** 20年間を振り返り、まちづくりの政策として6つの目標を掲げてきた。目標達成のため、時々の行政課題にさまざまな施策を講じ取り組んできた。ハード面では、統合中学校の建設、健康増進施設「ざぶ〜ん館」等行政効果はあったと思う。しかし、ソフト的事業においては、国策や時代の流れによる

### 町長 人に優しい教育と福祉の充実

## どう考える今後のまちづくり

施策があり、まだ道半ばという感がある。予算の基本は、人に優しい教育と福祉の充実である。合併問題について考える余地はない。



▲もうすぐ1年生（蓮野こども園）

## 実感できる子育て支援策を 教育長 現場と連携を密に 情報共有する

**問** 平成26年度から、保健福祉課における子ども事業が教育委員会に所管が移る。課の名称も子ども教育課として、新しく三つの係を設置する。

乳幼児から小学生、中学生へと成長する子どもたちと保護者に対し、教育委員会は実態に沿った支援をすることになる。

今回、スクールソーシャルワーカーを新規採用するのだが、新体制なのになぜ保健福祉課に席を置くのか。12月議会で質問した

「3こども園での夏休みにおける給食対応はその後どのような議論になっていくか。」

**町長** 子ども家庭相談事業を3年程やってきた結果、一歩前進させてスクールソーシャルワーカーを配置する。これまでの事業経過を見て保健福祉課に席を置くが、あくまでも教育長の管理下である。

**教育長** 教育委員会として新体制になる方針を示す。保育、教育現場等と連携を密にし情報共有をする。夏休みの給食対応については、検討を進めている。

#### 一口メモ

※スクールソーシャルワーカーとは  
子どもの最善の利益を保障するため、学校を基盤として社会福祉の価値・知識・技術に基づき支援活動を行う者。

## 農家は不安が大きい

### 町長 新政策に矛盾はない



五十嵐 利栄議員

**問** 国は新農業政策で、これまでの戸別所得補償1万5000円を半額とし、5年後に四十数年続けてきた減反政策を廃止する案を提示した。しかもこの中で生産調整（減反）は続けていく政策を続ける。南魚沼の大規模農家は、生産調整には応じられない。全面積コシヒカリを主体とする、主食米を栽培すると明言し、市長もこれに賛同すると報じられている。全く同感であり、国の新政策は矛盾していると思わないか。

**町長** 新政策は、農家自身が自己判断により作付けを行い、経営を維持していくことになる。しかし米価維持のため、生産目標数量が需給調整の廃

止とともになくなるとは、何を付けすれば所得向上かが分からない。そのため国はいま以上に、きめ細かい情報を提供して、経営判断をしてもらうので、矛盾はないと考える。



▲建設が進むざぶ〜ん館前宅地造成

## 住宅建設で人口増を

### 町長 民間主体で320軒

**問** 人口対策はどの自治体でも、喫緊かつ最大の課題である。今回は住宅政策を中心に伺う。

①浜山地区宅地開発現時点での住宅建設数。  
②ざぶ〜ん館前の宅地建設予定数。  
③旧役場跡宅地造成計画  
④①〜③以外で今後3年間で考えている造成計画場所と予定造成数。

**町長** ①浜山地区宅地開発による住宅建設数は67軒、その他老人福祉施設などで約280軒。  
②アパートを含めて33区画に40軒程度見ている。  
③町主体の開発で、10区画を計画している。  
④ひばりが丘団地で18区画計画。その他役場前と、正庵第2期計画で、10ヘクタール、270軒くらいが想定される。

## 「英会」病院いつ認可か

### 町長 本年4月頃 認可見込みだ

**問** 浜山地区の開発で進出した企業数と雇用者。このうち、町内雇用者は何人か。今後の進出計画は。

東港に進出予定の「英会」病院の認可が12月審査で認可されなかった。認可見込時期と、病床数などの見込みは。

**町長** 進出事業所は汐彩の郷、加治川の里およびまごころ保育園である。雇用実績は200人でそのうち町内居住者は約60人である。今後は建設中の特別養護老人ホームである。「英会」病院の認可は本年4月頃の見込み。病床数は当初の240床が180床になる見込み。



桜井 怜議員

# 目標人口1万5000人

## 町長 期待をしている

**問** 新聞に、国立社会保険人口問題研究所による、県の人口動態の推移が載っていた。2013年の人口233万人が、2040年、27年後に179万人と、54万人が減少する。

これは、あくまでも人口推計である。本町の平成32年度の目標人口1万5000人達成には、役場周辺の都市計画は重要であると思うが、今後の取り組みと、町全体の宅地開発の状況を聞く。

**町長** 目標人口達成には定住施策が必要であり、その根幹となるのは、宅地造成である。中でも、民間の宅地開発を基本と考える。

**町長** 役場周辺は、町の総合計画および都市計画マスタープランにより、適切



▲人口対策に不可欠 住宅開発予定地

# 6選出馬どうする

## 町長 挑戦する

**問** 町長は、政府の子育て支援制度の詳細を検討する委員である。県下の自治体の新年度予算は、子ども子育てを重要視する内容が多い。町の子ども子育てに、委員であることが生きるよつ、6選出馬すべきと思う。町長は後援会の新年会で、後援会の皆さんの出馬要請を重く受け止め頑張りたいと発言し、決意は、3月定例会で述べると言った、その決意を聞きたい。

これを、町民目線で運営を願い、町民目線で運営してきた。これからの、町の発展に不可欠な東港の港湾機能整備、未利用地の有効活用と活性化などは最重要課題として現在進行中だ。現状を踏まえ、将来にも安心、安定した町民生活と、魅力と個性のある聖籠らしい、住民自治を進展させていくため、いま一度、8月の町長選挙に、挑戦するべく決意をした。

**町長** 政策課題であった少子高齢化社会の現実を見据えた教育、保健福祉施策、農業振興、商業、観光、道路整備の社会資本整備を、町政発展

町民と共に歩む、開かれたまちづくりを基本として、誠心誠意、町民の支援を賜るよう努力していきたい。

# 不交付団体大丈夫か

## 町長 事業の見直しで対応

**問** 6選出馬について、町民の信頼が得られるのであれば、次の町長選に再度立候補し、さらなる町政発展のために挑戦する決意を聞いた。5期目の負託を受けている任期も後わずかである。町民と約束した選挙公約を検証してみたい。

諸事情で工事が遅れているとの説明があったが、6月開館は大丈夫か。③背後地の工業団地への企業誘致の促進策「聖籠町企業誘致条例」についていま一度、見直しはどうか。④地域の環境美化「花いっぱい運動」に継続と予算の拡充を。

②建設業界の社会的要因による資材の納期遅れから、当初の工期内竣工が厳しい状況であるが、6月開館は大丈夫。③企業誘致条例の対象業種の拡大等について検討を進めている。

①4月の消費税の引き上げに伴う地方法人課税の一部国税化で、不交付団体の本町にとっては今後厳しい財政運営を見込まれると思うが見直しは。②図書館の整備について

**町長** ①歳入の増加は見込めない状況である。社会保障の自然増の負担が増えていく中、政策的経費を含めた事業の見直し

④町民と行政の協働による地域単位でのボランティア団体で、平成26年度においても継続して取り組む。



高松 守雄議員

# エネルギー戦略特区の取り組みは

## 町長 大きな期待を寄せている



▲エネルギー基地への期待は大きい

**問** ①国の、国家戦略特区諮問会議に、県と新潟市、上越市、聖籠町が共同で天然ガスの安定供給などを柱とする「エネルギー戦略特区」構想を提案している。具体化すれば本町などが指定される可能性があるのではないかと、構想と町の取り組みは。②町長は、LNG火力発電が立地する自治体でつ

**町長** ①提案内容は天然ガスを中心とするエネルギーの国内供給ラインの多様化。そして石油供給関連設備の整備、高効率火力発電所の新増設と送電網の拡充等について、規制緩和と国策支援を誘導する内容。新潟東港を核とした産業基盤形成に資するエネルギー拠点基地の推進に向け、国への要請を図る。②電源立地地域対策交付金制度の再構築および継続を国に求めたい。



中村 恵美子議員

**問** ①子育て新制度の入所利用基準について、「標準時間」の利用対象となるのは親の勤務時間が週30時間以上である。勤務時間の下限を各自自治体が独自に定めるため、入所できない。本町では発生しないか。

②地域型保育の基準は市町村が作る。人員は国の基準に従うが、それ以外は市町村が決めるため、低い基準に認定されるおそれがある。本町は保育に格差は出ないか。

**町長** ①就労時間の下限については、新制度に関する条例の中で検討する。

②現在保育所を利用している子どもは利用継続の経過措置を取るなど、格差が出ないよう調査し、提案したい。

③地方版子ども・子育て会議の設置は、関連3法に基づき、事業計画を平成26年度に策定する。子ども・子育て会議でのチェック機能は、議論の対象になると思う。

## 子育て新制度格差はあるか

### 町長 格差出ないように調査し提案

## 児童クラブの方向性を問う

### 町長 年次計画を立て進める

**問** 3小学校の放課後児童クラブには、入所希望児童の増加に対し受け入れ環境が十分整っていない、という課題がある。昨年町長は、小学校の保護者らと何度か意見交換をし、町も現地調査をした。そして町は平成26年度、蓮野小学校内に学童保育施設の建設計画を立てた。関連して質問する。

①蓮野学区の児童クラブ建設予定地はどこか。その場所を選んだ理由は。

②平成26年度の蓮野小学校児童クラブは定員を超える見通しだ。新施設完成までの対応は万全か。

③山倉・亀代小学校区の施設建設を含めた環境整備を、どう考えている。



田中 智之議員

**町長** ①建物の規模や子どもたちの送り迎え等も勘案し、蓮野多目的屋内運動場の至近地内と考えている。

②新年度は、現在の使用教室の他に新たに教室を確保して対応したい。

③国・県の基金を活用した年次計画を立てた上で、整備を考えている。



▲蓮野児童クラブ建設予定地

## 通学路の点検と整備を

### 町長 早急に調査実施する

**問** 小・中学校への登下校には常に交通事故の危険性が伴う。事故を未然に防ぐ手段として道路整備や注意喚起などがあるが、道路拡幅には多大な費用が必要となる。

問もなく新学期が始まる。子どもたちと同時に、自動車・道路利用者が安全に通行できるように対策を立て、できることから実行すべきと考え質問する。

①通学路に路側帯を表す白い美線の表示がない、もしくは剥がれている箇所が多い。早急に調査し表示すべきではないか。

②弁天瀧風致公園周囲の通学路は、見通しが悪く道幅が狭い箇所が多い。公園利用者の通行に配慮する上でも、整備を進めるべきではないか。

③小学生の登下校時のマナーに対し苦言を聞くことがある。学校での交通安全指導の徹底と指導の見直しをすべきでは。

**町長** ①例年は4月に区画線設置工事を行っている。少雪のことは早急に調査を実施し、区画線設置する。

②弁天瀧から蓮野小学校へは道路が入り組んでいる。弁天瀧から二本松の県道まで真っすぐな道路を新設し、道路・歩道整備ができるか調査する。

**教育長** ③安全な登下校のため、さまざまな団体や個人に協力いただいている。今後は、子どもたち自身が交通事故から自分の命や身の危険を守るよう育てたい。

## 津波ハザードマップ 町民に周知を

### 町長 周知を図りたい

**問** ①2011年3月11日の東日本大震災から、3年が経過しようとしている。特に津波対策については、町民は不安を抱いている。津波ハザードマップを町民に周知し、不安を取り除くべきではないか。

②「まちなか防災訓練」の後イベントをやるなど参加者を増やせないか。

③各避難所で、計画的に自家発電装置を設置すべきではないか。

④各幼・小・中学校において、津波対策も含めた防災教育を行うべきではないか。

**町長** ①災害ハザードマップを4月下旬に配布し、浸水想定地区は、説明会をしたい。

②住民の創意工夫により参加者増も含めた訓練となるよう会議でお願いする。

③非常用自家発電装置は、移動できるものも含めて検討していきたい。

**教育長** ④子どもの段階に応じて、危機的対応能力の育成に務めている。



▲いざというときのために避難訓練



堀 常正議員

**問** ことしも網代浜海水浴場付近と、その北側の2力所で、大きな海岸浸食が進んでいる。2メートルの段差が生じている。非常に危険な状態であるが、注意を促す看板もなく、安全対策も何らされていない。町の観光財産が、このような状態で良いのか。

**町長** ①何度も護岸工事対策を講じているのに、聖籠海岸の浸食が止まらない。現状から考えて、今まで対応してきた護岸工事対策が、効果的と思われな

**町長** ①聖籠海岸の保全施設整備については、管理者の新潟県に対し、抜本的な対策を講ずるよう見直しを要望している。浸食防止の沖合の人工リーフについても既に要望している。

## 海岸保全施設の抜本的対策を 町長 県に計画の見直しを要望

**町長** ②海岸背後地の砂防林に、昨年も松くい虫の被害がかなりあった。今は、クロマツ二種類のみを植え、砂防林としているが、松くい虫被害が大きな問題となってきた。本来の自然林をなす常緑広葉樹等の植樹も検討すべきでないか。

**町長** ②クロマツを適正に管理し、機能強化を図ることが重要であるが、今後は県も技術的な検証を行っている。砂防林の常緑広葉樹の植栽効果についても検討を行っている。



▲浸食が進む網代浜海岸

**一口メモ**  
※人工リーフとは  
自然のサンゴ礁をまねたもので、波消しの構造物を水面下に設置することで、海岸付近に浅瀬で波の小さな海域を造るもの。

**町長** 交差点を所轄する警察署に、事故発生状況や車両の通行状況等を確認し、信号機が必要と判断された場合には、信号機の設置要望を提出したい。

## 信号機設置を要望せよ 町長 設置要望を提出する



小川 益一郎議員

## 26年度施政方針をただす

### 町長 町民の理解と協力を

**町長** 財政的に厳しいと言いつつも、一般会計68億5800万円の予算となり、ことしも不交付団体を維持することができた。このことは行政も町民も共に幸せなことであると同時に、町民が汗して得た「税金」から成り立っていることを忘れてはならない。

**町長** ①平成24年度から26年度までの3力年を取り組んでいる行政課題である「適正な人員配置へ向けた事業見直し」「補助金のあり方の根本的な見直し」「職員の意識改革」についての検証中とあるが、問題点と課題は、



▲更新が期待される東新湯火力発電所

②今年度末で幹部職員が大量に退職すると聞くが、何人か。新採用は。③現収試算で不交付状況は何年続く。④町長から議会に対し東北電力(株)東新湯火力発電所港1号、港2号機の更新整備を要望する決議書採択の要望があった。この要望決議書は、議会のみか、町の要望はどうするか。⑤港1号、2号機を更新整備すると、税収はいくら増となるのか。

**町長** ①適正な人事配置については比較的效果の大きい事業に絞って検証作業中である。補助金は透明性、公平性を確保するため、全ての補助金で要綱制定している。

**町長** 職員意識改革について、人事評価を一般職で平成24年から、専門職では平成25年より実施している。②退職予定者は14人、うち幹部は9人。新採用は13人で、この他臨時任用としてスクー

**町長** ⑤更新整備の効果は、1キロワット当たり12万円程度の投下資本とすると15億円程度の税収増となる。⑥東港振興室は継続か。⑦東港振興室設置により日本海側拠点港の指定など成果があった。今後も継続する。⑧広報せいらうの縮刷版作れ。

**町長** 広報せいらうは、平成5年版からCD版としており、縮刷版を作る考えはない。

### その他の質問

**問** 「葵会」病院の進捗は。

**町長** 当初計画240床から180床に縮小し、開院は平成27年4月を予定していたが、6カ月程度遅れる予定。

**問** 夕彩の郷介護報酬不正請求に係る返還金の精算額はいくらか。

**町長** 不正請求金額は6039万2004円で、町に戻る金額は2231万596円である。

# 第16回 追跡レポート その後どうなった 請願・陳情のゆくえ



平成20年から24年の間に議会で審議・採択された請願・陳情は、請願が32件、陳情は40件ありました。その中でも、特に町民から提出され、私たちの生活に深くかかわる2件の陳情について、その後の状況を調査しましたので皆さんに報告します。

## 陳情 地区防災道路を整備してください

陳情名 藤寄集落下通り地区防災道路整備に関する陳情書  
提出者 藤寄副区長 遠藤博  
議会採択年月日 平成20年9月22日

町道藤寄1号線

### 処理状況

#### 道路改良工事を一部完了

平成22年度から24年度に用地買収・補償を完了。平成25年度に道路改良工事、一部完了しました。

### 今後の計画

平成26年度に道路改良工事の残り部分及び全線の舗装工事について、着手・完了の予定です。



△現在のようす (平成26年3月上旬)

町道藤寄2号線

### 処理状況

#### 用地測量・物件調査を完了

平成24年度までに用地測量・物件調査を完了しました。

### 今後の計画

平成26年度に用地買収・物件補償を行う予定です。



△現在のようす (平成26年3月上旬)

## 陳情 生活道路の環境整備を してください

陳情名 蓮濁居浦山地区道路環境整備の陳情書  
提出者 蓮濁区長 森田春雄  
議会採択年月日 平成24年12月13日

### 処理状況

担当課において現地踏査を実施

### 今後の計画

平成27年度に用地測量・調査を行う予定です。



△現在のようす (平成26年3月上旬)

# 夢実現の応援を

## 町長 対策を講じたい



青木 順議員

**問** 本町は平成19年3月に「芸術・スポーツ文化のまち」宣言をした。背景には、平成14年に開校したサッカー専門学校や、平成15年に本町がアルビレックス新潟のホームタウンになったことなどによる。  
それらの中に聖籠町で生まれ育った野球選手の加藤健選手がいる。1998年ドラフト3位でプロ野球読売ジャイアンツに入り、16年目に入る現在も第一線でプレーを続けている。

野球に取り組む人の夢や目標がこんなにも近くにいるにもかかわらず、町のサッカーへの力の入れ具合に比べ、野球や加藤健選手などの関わりが薄くなってきていると感じる。  
今までも町はさまざまな関わりがあったと思うが、今後も加藤選手を育てた町として野球教室を開くことはできないか。  
野球にこだわらず、スポーツに取り組む子どもたちとの触れ合いの場を設けるなどできないか。何よりも加藤選手からこれからも野球に限らず、夢を手にする選手が必ず現れる。

自身の経験を生かし、これからも町の役に立てることができないかと、加藤選手も言っている。そうした関わりを生かし、町のスポーツ振興に取り組みないものか、また以前はそういう取り組みがあったが、なぜなくなったのか伺う。  
**町長** 町のスポーツ振興についてだが、入団当時は地元で加藤選手を応援する会を立ち上げ、会員も100人を超え、公式試合の応援ツアーや少年野球教室の開催など、加藤選手には地元で大きな貢献をいただいていた。加藤選手と事務方とのお互いのいきさつの違いから、信頼関係が欠如したことにより、二、三年は、後援会活動が停滞し加藤選手には大変申し訳ない状況になっている。加藤選手の存在は、町にとっても貴重な財産であり、町の誇りでもある。町のスポーツ少年団の野球チームや中高生などを対象とした、野球教室や座談会等を企画し、夢を育んで頑張っている子どもたちとの関わりを深めるような対策を講じた。また加藤選手と地元との親密な関係を構築できるような町としても対応していきたい。



▲未来のスターを目指して

# 一問一答方式を導入

## 議会運営

議員は、議会の定例会で、町が行う仕事全般にわたって長（町長や教育委員会などの長）に質問することが認められている。これを一般質問と呼んでいる。

一般質問は、議員にとって政策提言をしたり、長の考え方を聞いたりする一番の機会である。こうした議会活動を通じて町民の皆さんに町政に関心を持っていただき、それぞれの立場で協働しながらより良いまちづくりにつなげていくことが、議会の仕事であると考えている。

そのため、議会の質問と答弁（説明）の進め方を議論してきた。現在はいくつかの事項をまとめて質問しているが、一問ずつ質問する方式（いわゆる一問一答方式と呼ばれる）を導入することを検討している。

この方式を導入することで、もっと議論が深められたり、議会を傍聴に

来られた方やラジオ放送を聴いてくださる方にとって質問のやりとりが分かりやすくなることが期待される。

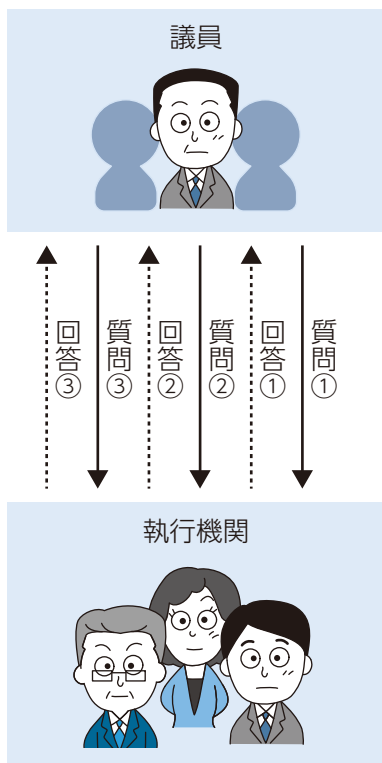
さらに今までは、議員が長に一方的に質問し、これに長が答弁や説明をすることが原則となっていたが、長に反問権（長が逆に質問する権利）を与えて、長からも質問できる方式も考えている。

これにより議論の内容が明白になることと質の高い議論を行う議会となるものと考えている。

立場の違いがあるにしても長も議会も共に町民福祉の向上になることを願って一問一答方式を6月議会から導入予定である。

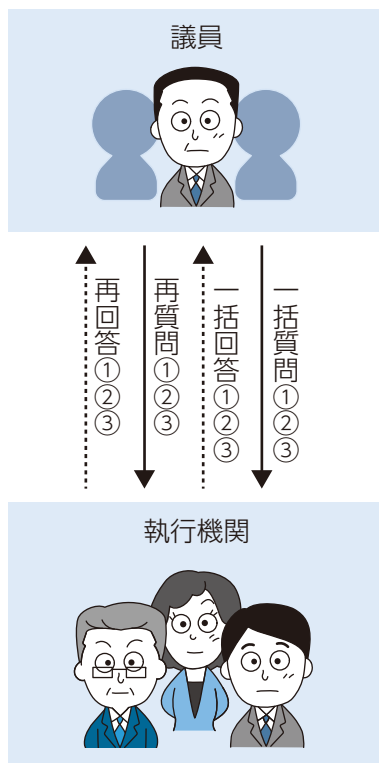
### <一問一答方式>

新たに導入したいと考えている運営方法



### <一括質問一括回答方式>

現在行われている運営方法



※ラジオ放送 本会議の様を一昨年から「エフエム しばた」で放送しています。詳しくは、28ページをご覧ください。

# し尿処理の新施設を視察

## 総務文教



▲新し尿処理施設を視察

本委員会は1月24日、4月から稼働予定の新発田市し尿等下水道投入施設の現地視察を行った。

新施設の特徴は、現在の微生物により浄化し河川に流す処理方式を、し尿及び浄化槽汚泥を希釈し下水道施設で処理する方式に変えたことである。これによって事業費は大幅に削減され、また処理工程の簡素化と、従来の2施設を集約することなどから、今後の運営経費も大きく削減される見込みとなった。

本町のし尿等の処理は、4月

より新施設に委託するが、それに掛かる本町の負担額は今年までの年間2051万円から981万円に減少する。環境に優しく負担の少ない新施設に大いに期待する。

## あんなことや こんなことを 調査 研修 委員会報告

# 水田農業政策を調査

## 厚生産業



▲どうなるか未来の水田農業

本委員会は1月30日、平成25年度の転作概要について、町の農業再生協議会審議内容の調査を行った。

平成25年度の実作付面積は753・1ヘクタールで、超過作付面積は39・9ヘクタールであった。

平成26年度の作付面積は前年度より4・2ヘクタール減の711・9ヘクタールとなり、生産調整率も42・6%となり、農家にとって極めて厳しい情勢となっている。

5年後には、減反政策を全廃

する国の方針も出されている中で、農家が将来的に安心して経営できる政策が今後、望まれる。

## ☆ 議会を傍聴に きませんか

次回の定例会は、

**6月17日(火)**開催の予定です。

議会では、どんなことが議論されているのか。どんな計画があり、どう進んでいるのか。あなたに身近なことかもしれないかもしれません。気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」のラジオ放送やインターネットでも生放送しています。

都合で議場には来られない方も、ぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望などをお気軽に私たち議員にお寄せいただければ、と思っております。



## ★表紙の写真★

### 「初めての入园式」

4月7日(月)、聖籠こども園に0歳～2歳児の子どもたちが元気に入园しました。

### 発行責任者

議長 須貝 龍夫

### 広報対策特別委員会

委員長 五十嵐利栄

副委員長 渡辺 利道

委員 堀 常正

田村 富美男

田中 智之

青木 順

# みんな

# の

# ページ

## 聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

### 四季を通して楽しめる すてきな町だと思います



いしだ ゆき  
石田 有紀 さん  
(蓮潟)

**Q** どんなきっかけで彼と知り合いましたか？  
同じ職場で知り合いました。

**Q** 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？

自然の豊かな、のどかな町だと思います。桜の名所や大きな海岸もあり、四季を通して楽しむことができる、すてきな町だと思います。

**Q** 町での生活はどうですか？(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせください)

まだ住み始めて間もないですが、周りの方々がとても温かく接してくださるので、安心して暮らしています。

**Q** 町に望むことはありますか？

これからも、子どもからお年寄りまで、楽しく安全に暮らせる町にしてほしいと思います。

今回は新潟市出身で平成26年3月に嫁いで来た石田有紀(旧姓 大場)さんです。

皆さんよろしくお願います。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に聖籠町役場内議会事務局 (Tel.0254-27-1967) または最寄りの議員までご連絡ください。

## 編集後記

「役場に行くことは、ありますか」「ないな。自分の仕事はやり通したし、老兵は：だよ」そう言っただけに、お笑い。一昨年の初夏の話である。

藤寄に生まれ、20代の全青春を戦争に費やした。終戦後は町の要職に就き、東港開発を中心とした本町の発展に心血を注がれた。それが現在の財政豊かな聖籠町の土台となったことは言ってもいい。本年度の町の一般会計予算は68億超、引き続き不交付団体である。

しかし実際にお会いし、話をすると、心に刻まれたもの。それは、その人が本当に残してくれたものは一瞬一瞬を真剣に、必死に生きるこの尊さや、自己に対する潔い生きざま、豊かな財政はその結果に過ぎないという思いだ。長谷川榮作元町長。永眠された。今でも聞こえてきそうである。「真剣とか必死じゃないんだ。命がけなんですよ」。鋭く、そして慈しみに満ちたまなざしとともに。

議会広報対策特別委員会  
委員 田中 智之

### 《おわびと訂正》

平成26年1月発行の105号の編集後記中、「伊豆半島」との記載がありますが、正しくは「伊豆大島」の誤りでした。おわびし、訂正いたします。

聖籠町議会だよりは、資源保護のため再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。